

「夢を持って<sup>はげ</sup>と励まされ、夢を見るなど笑われる。  
膨<sup>ふく</sup>らんで、破<sup>やぶ</sup>れて、近づいて、遠ざかって・・・」

大分県のある企業の商品コマーシャルです。見てほっとします。

子供の頃は誰でも夢を持っている。しかし、『夢みたいなことを言っていないで勉強しろ』と言われて育つうちに、夢を見ることを忘れてしまいます。

- 大学新卒者の三割が就職しないでいわゆるフリーターになる時代。
- 選挙をすると五割以上の有権者が棄権する。
- 自分がもらえるかどうかもわからない国民年金なんてどうでもいいという人が四割もいる。

無責任極まりない国になってしまっている。

- 自分の国は、自分の手で作っていく気概がない。
- 自分一人さぼっても社会には影響ないだろうという人が集まって、無責任集団が大勢になっている。

なぜこのようなことが起こるのか。



ワタミの渡邊美樹氏が、日本の教育改革にかける情熱と実践をしています。並々ならぬ問題意識、夢と決意に、私自身も心から教育されました。

「ワタミグループには現在1,700人の社員がいる。辞めていった者も多いので、総勢4,000人ほどの社員を育ててきた。なかには、いわゆる一流大学を出た子もいたし、高卒も

中卒もいた。

そのなかでわかったことは、学歴に関係なく、夢を持って進みはじめたときに人は見違えるほど成長するということだ。

スイッチが入り、なにかにインスパイア※inspire（鼓舞・奮起）されたときには劇的に代わってしまう。人間とはそんな大きな可能性を持っている。私はそれを信じている。」

渡辺氏の経営する学校でも、「夢」教育を徹底して行っています。それは、自分が本当にやりたいことに向かって勉強できる人間になってもらいたいという理念からです。その結果、ほとんどの者が有名大学へ進学したり、海外へ留学したりしています。それは皆、「夢」に向かって、自ら決めたことだから、徹底して勉強を行えるのです。

生徒諸君、君に“夢”はあるか！？  
「ある！」ならば、どうやって叶えるのか？